

あなぶき興産グループの一戸建て住宅部門の「あなぶきホームプランニング㈱」、 「無印良品」の住宅事業「MUJI+INFILL 木の家」 ネットワークパートナーに四国で第1号

あなぶき興産グループのあなぶきホームプランニング株式会社（本社 高松市春日町、社長 手塚恒夫）は、穴吹興産㈱の一戸建て住宅部門として「瀬戸内の家」「鉄人の家」「雨楽な家」などのブランドを提供してまいりましたが、このたび「無印良品」の住宅事業のネットワークパートナーとなって「MUJI+INFILL 木の家」を香川県内で販売することになりました。

「MUJI+INFILL 木の家」ネットワーク事業を全国的に拡大しているムジ・ネット株式会社とパートナー契約をしたもので、今後、このブランドの住宅を香川県内はあなぶきホームプランニング㈱が独占して販売することになりました。

あなぶきホームプランニング㈱は本日（7月1日）より穴吹興産株式会社の100%子会社として新しく設立いたしました。（旧穴吹興産㈱アナブキホーム事業部）

「基本コンセプト」：集成材+金物のSE構法による間仕切りのない大空間を「無印良品」の5千品目以上のアイテムを使ってレイアウト

「無印良品」は1980年に(株)西友のプライベートブランドとして登場。「わけあって、安い」というコピーとともに誕生。生活者の立場に立って商品の原点を見つめ直し、実質本位の商品をリーズナブルな価格で提供してきました。シンプルでかつ美しいデザインとあいまって、広い層に支持される世界的なブランドになっています。

その「無印良品」は文具、家具、家電から衣料品、食品など多くのアイテムを統一されたコンセプトで開発、販売しており、今回の「MUJI+INFILL 木の家」はそれらの延長線上にあります。

建物の特長 広々とした大空間にサイズがフィットする無印良品の家具、収納

「MUJI+INFILL 木の家」では工法として「スケルトンインフィル(SI)住宅」の考え方を導入し、日本人にとって親しみ深い木造の住宅に開放感いっぱいの一室空間を生み出すために安全なSE構法を採用しました。SE構法とは集成材と専用金具を使った構法で、外郭だけで構造強度を確保するため、内部は吹き抜けを持つ開放的な箱型の一室空間を実現でき、間仕切りを入れた場合も、構造に関係なく、ライフスタイルに合わせて自由にレイアウトを変えることができます。

「無印良品」のスケルトンインフィル住宅の差別化のポイントは「無印良品」の家具や収納などの製品を好みや必要に応じて自由に選択し、配置できるようスケルトンを構成する部材やサッシなども「無印良品」の製品寸法と整合性を持たせているため収納家具を間仕切り壁のように使うことができます。

また、内装仕上げもホワイトを基調とした、落ち着いた色使いで統一し、コーディネートのにやすさに配慮しています。

「MUJI+INFILL 木の家」の仕様

ローコストを実現するために、設計・施工は完全にモジュール化。設計は敷地条件をもとに、尺貫法の1間(=182センチ)を基本モジュールとした平面プランを選択し、そのモジュールにそって窓や玄関、階段や吹き抜けの位置を決めていきます。

部材は、建物の機能性、施工の合理性を保つため「無印良品」部材の使用が基本。ただし、ユーザーの選択肢に幅をもたせるため、衛生設備機器など他社メーカー製品を指定品・推奨品としての使用も可能です。

主要顧客層 「無印良品」に馴染んだ30歳代の一次取得者

「無印良品」をライフスタイルに好んで取り入れている30歳代の世代を主要顧客層として想定しています。統一したデザインでライフスタイルに合わせて自由にレイアウトを変えることを楽しみたい人たちには魅力的なものとなるでしょう。

販売促進の特徴 ネット会員約25万人、「無印良品」愛好者に直接アプローチ

「無印良品」店頭やWEBサイト、メールマガジンなどを通じて「無印良品」愛好者にアプローチ、当社はコミュニケーション・ペーパーやモデルハウス(本年9月完成予定)などで販売促進活動を行い、相乗効果による集客力アップを狙います。

「MUJI+INFILL 木の家」のネットワークパートナー

「無印良品」の住宅事業を担当するムジ・ネット株式会社が全国のエリアごとに1社の工務店と広告宣伝の独占的なパートナーシップを結ぶという全国展開を図る中で、このたび弊社(あなぶきホームプランニング株式会社)が四国で初めてパートナー契約をいたしました。

なお、実際の施工、アフターメンテナンスは当社が行います。

この契約によって、社員の研修が始まり、また近日中に高松市内にモデルハウス建設を開始し、本年9月中旬には一般公開できる予定です。

報道機関の皆さまには日程が固まり次第、早目にお知らせいたします。

本件についてのお問合せは 穴吹興産 総務部(広報担当) まで